

# 森木林 [もり] だより

発行／豊築森林組合  
企画・編集／広報委員



県天然記念物「広葉杉」  
豊前市大河内(大河内傳次郎生家跡)

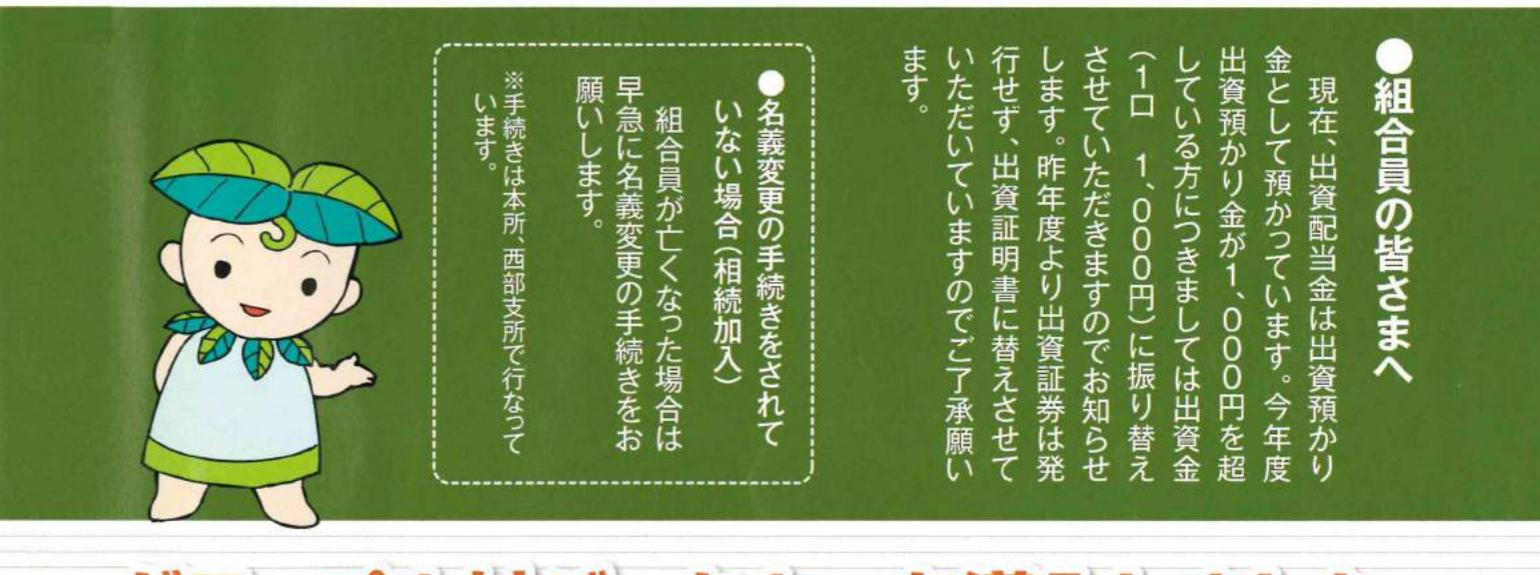
# 理事会報告

10月27日に理事会を開催しました。審議の結果、全議案とも原案通り可決承認されました。提出された議案は次の通りです。

【協議事項】	第1号議案 上半期収支について
	第2号議案 規定の改定について
	第3号議案 平成23年度森林づくり交付金事業計画について
	第4号議案 森林総合研究所契約について
	第5号議案 冬期賞与支給について
	第6号議案 製材事業の今後について
【報告事項】	1. 小径木加工場における野外焼却について
	2. 組合員住所確認について
	3. 1県1森林組合合併報告について

## ●組合員の皆さんへ

現在、出資配当金は出資預かり金として預かっています。今年度で出資預かり金が1,000円を超えている方につきましては出資金（1口 1,000円）に振り替えさせていただきますのでお知らせします。昨年度より出資証券は発行せず、出資証明書に替えさせていただいているのでご了承願います。



## グラップル付バックホーを導入しました。

平成22年度森林・林業・木材産業づくり交付金事業でグラップル付バックホーを導入し西部支所に配置しました。この機械は伐倒、枝払い、玉切りした材を作業路まで引き寄せ、運搬車に積み込む機械です。

事業費の内、国40%、豊前市・築上町・上毛町で30%の助成を戴き導入できました。今後、木材の搬出コストの引き下げに貢献できるものと考えています。



## 森林施業・プランナー研修受講

11月15～17日の3日間の日程で農林中央金庫主催のJプランナー研修に東部支所の宮元支所長と西部支所の神崎次長の両名が研修を受けてきました。Jプランナー研修とは先進的な組合より講師を招いて今後、組合事業の主流となつて提案型集約化施業について現地研修から森林施業プランの作成までの研修をうけました。

また、11月17日～19日には全国森林組合連合会主催のOJT研修が熊本県上球磨森林組合で開催され、西部支所の神松、櫛松の両名が参加しました。OJT研修はプランナー研修と同じく提案型集約化施業の研修で現地を中心とした研修です。

今後、組合員の皆様に集約化施業を推進して行く予定ですのでご協力をお願いします。



補助制度をうまく利用して豊築森林組合は提案型施業を推進し、健全で美しい森林を子孫に残します。

## ウッドフェスタに参加

福岡県では毎年、「木とのふれあい」をとおして木の良さ、あたたかさを知つていただき、木と暮らしの関わりを一層深めるためのイベント「ウッドフェスタ福岡」を開催しており、今年も10月10・11日の2日間福岡市植物公園で開催されました。

当組合も京築林業推進協議会の一員として木工品や木で作られたアクセサリーなどの販売や展示をおこない、福岡市民に木の良さをアピールしてきました。





## 森林・林業再生プラン（イメージ図）

- ▶ 強い林業の再生に向け、路網整備や人材育成など集中的に整備し、今後、10年以内に外材に打ち勝つ国内林業の基盤を確立
- ▶ 山元へ利益を還元するシステムを構築し、やる気のある森林所有者・林業事業体を育成するとともに、林業・木材産業を地域産業として再生
- ▶ 木材の安定供給体制を構築し、外材からの需要を取り返して、強い木材産業を確立
- ▶ 低炭素社会づくりに向け、我が国の社会構造を「コンクリート社会から木の社会」に転換

## 木材の安定供給体制を構築し、儲かる林業を実現

ただちに取組を開始

低コストで崩れにくい  
路網の普及  
(平成22年度の事業実行に反映)

### 路網

路網の  
作設オペレーター等の育成  
(補正予算を活用した研修の実施)

集約化・搬出間伐に向けた  
予算の集中化  
(平成22年度から推進)

### 集約化

集約化を進めるための  
人材育成  
(平成23年までに  
施業プランナーを2100人育成)

### 路網整備の徹底

今後10年間で  
ドイツ並みの路網密度を達成

施業可能な森林（人工林の2/3程度）について、低コスト作業システムに必要な路網密度（車両系：100m/ha、架線系：30～50m/ha）を今後10年間で確保

平成22年度中に制度的な検討

計画的な施業による適切な森林管理への誘導と安定的な木材供給の確保  
(森林施業計画による伐採・更新のコントロール)

### 安定的な木材供給

計画的で適切な森林施業や林業経営を支える「日本型フォレスター制度」の創設

### フォレスター

森林所有者への施業提案能力の強化等による森林組合の改革と民間事業体の育成強化

●施業の集約化が促進（低コスト化）  
●搬出間伐へ転換（資源の有効利用）  
●国産材利用の課題解消（木材の安定供給）

### セーフティネット

国産材の加工流通構造の改革  
小規模、分散・多段階 ▶ 大規模・効率的な国産材の加工・流通体制の整備

### 国産材住宅の推進

・在来工法住宅をはじめとした住宅の国産材シェア（材積）を向上  
・大工・工務店など、木造住宅・建築の担い手に対する支援

### 公共施設等への 木材利用の推進

・公共施設における木材利用の義務付けを検討

### バイオマス利用の促進

・国産材への原料転換、間伐材などの製紙・バイオマス利用の推進  
・関連研究・技術開発の推進

### 新規需要の開拓

・石炭火力発電における石炭と間伐材の混合利用の促進策を検討  
・木材利用の多角化や新たな木質部材開発に向けた研究・技術開発の推進

～コンクリート社会から木の社会へ木材自給率50%低炭素社会の実現～

平成21年11月17日福岡県1県1森林組合合併推進研究会が設立されたことは、昨年の森林だよりNo.6号でお知らせしましたが、今現在、林業・森林組合をめぐる現状や合併ビジョンについて検討している内容を報告します。

## 福岡県1県1森林組合合併ビジョン

### 林業・森林組合をめぐる現状

#### 森林・林業の現状

- ①木材価格の低迷による林業経営意欲の減退
- ②林業従事者の減少・高齢化
- ③森林の公益的機能への期待
- ④森林資源の充実

#### 森林組合の現状

- ①事業量の減少
- ②木材需要に対応できない生産体制
- ③職員構成の硬直化

このままでは…

組合員の期待に応え得る森林組合とは？  
確固たる経営理念と安定した組織基盤を持つ県下一組合

#### 合併の目的

- ①組合員の利益を高めていきます
- ②森林の持つ公益的機能を高めていきます
- ③県下一丸となった大同団結を目指します

#### 合併に向けた体制

- ホップ ▶ 構想具体化検討委員会  
ステップ ▶ 合併推進研究会  
ジャンプ ▶ 合併推進協議会



**JForest ふくおか**  
新組合の名称

### 合併のビジョン

（合併により具体的に目指す将来の展望）

#### 1 組合員のサービス向上

- 組合員に対する均一なサービスの向上
- 組合員ニーズ（要望）に応じたサービスの提供
- 組合員の林業所得の向上
- 林業経営指導、コンサルティング（専門家による指導・相談）機能の強化
- 林業に関する情報の提供
- 事業の拠点の整備と施設等の利用拡大

#### 2 組合運営の効率化と財務体质の改善

- 組合経営の合理化及びリスク（危機）管理、コンプライアンス（法令遵守）機能強化
- 役職員等の資質の向上と効率的な人員配置
- 組合間、地域間の格差解消
- 効率的な資金運用
- 安全衛生管理体制の強化
- 作業班員の育成確保、流動化
- 新規事業に取り組める組合体力の強化

#### 3 木材生産・販売戦略の構築

- 木材の生産拡大と安定取引
- 木材価格の安定
- 高性能林業機能の有効活用と生産コストの削減
- 産直住宅等、県産材の利用拡大
- 未利用材等の利用拡大
- バイオマス（生物資源）事業等への取り組み
- 民間企業との協力



今しかない!  
系統一化となって  
成しえよう県一合併!



#### 4 森林の適正管理

- 長期ビジョンに基づく持続的森林管理体制の整備
- 森林資源のデータベース化（データの収集・整理、検索や更新の効率化）
- 施業集約や長期施業受託による効率的な森林施業
- 森林の公益的機能の維持、強化
- 森林環境教育等への取り組み
- 企業・県民との連携





京築ブランド館は本年4月にオープンし、早7ヶ月が経過しました。その間に約2万人以上の方に来場いただき順調に推進しています。店長1名、従業員1名、パート2名の交替勤務で運営しています。

#### 販売商品の一部紹介

オープン当初は組合が生産する製品や木工品が主な商品でしたが、出荷者も増え、品揃えも多くなってきており森林から生産されたいろいろな商品が並んでいます。

商品展示



木を使った展示室



#### 小学生訪問

11月17日築上町立上城井小学校の3・4年生6名が地域商業施設の社会見学でブランド館を訪問してくれました。前もって一人一問質問を考え、山口店長にいろいろな質問していました。見学のお土産として飾り棚のキットを店長よりプレゼントされました。



#### 案内&募集

##### 木工教室

ブランド館では毎月第4曜日に木工教室を開催しています。作る品物や参加費は毎回異なりますので詳しい内容については、当館までお問い合わせください。

##### 出荷者募集

当館では地元のスギやヒノキ、広葉樹を使った製品を出荷してくださる方を募集しています。詳しくは当館までお問い合わせください。

**0930-53-1155** (山口、真田)

#### 10月共販市況(県森連浮羽事業所)

単位:円/m<sup>3</sup>

長	径級	スギ				ヒノキ			
		高値(直材)	中値(直材)	曲り材	評価	高値(直材)	中値(直材)	曲り材	評価
6	18~20		14,000	10,000			22,000	18,000	
	22上		13,000	9,000			22,500	17,500	
4	14~16	9,950	9,500	7,600	○	20,000	19,800	17,800	
	18~22	12,500	12,100	10,500	○	19,500	19,000	17,000	
3	24~28	13,800	13,500	11,800		21,000	20,000	18,300	△
	30上	12,300	12,100	10,500					
2	14~16	10,500	10,000	7,800	○	13,000	12,600	10,400	
	18~22	12,300	12,100	9,800		16,800	15,800	13,000	
2	24上	12,700	12,500	10,200					
	18~22	6,000	5,800	4,500		7,000	6,000	5,500	○
2	24上	7,000	6,000	5,000		8,000	7,000	6,000	



## 森林・林業再生プラン概要

「森林・林業再生プラン」は、今後10年間を目標に、路網の整備、森林施業の集約化及び必要な人材育成を軸として、効率的かつ安定的な林業経営の基盤づくりを進めるとともに、木材の安定供給と利用に必要な体制を構築し、我が国の森林・林業を早期に再生していくための指針として農林水産省が作成しました。

### 再生プランの目ざすところ

- 林業・林産業の再生を、環境をベースとした成長戦略の中に位置付け、木材の安定供給力の強化を軸にした対策により雇用も含めた地域再生を図る。
- 森林計画制度等の制度面から路網・作業システム整備、人材育成などの実践面も含め、森林・林業政策を全面的に見直す。

### 木材自給率50%

(2020年まで)

【木材生産1,800万m<sup>3</sup>→4,000万~5,000万m<sup>3</sup>】

#### 林業経営・技術の高度化

##### 路網・作業システム

- 先進的林業機械の導入、普及
- 作業道作設に関する新たな指針の創設
- 生産性の高い機械利用を前提とした路網体系の理論
- 技術の整理・普及
- 理論・技術の整理(作業システム、機械、森づくり、間伐方法等)

##### 森林組合改革・民間事業体サポート

- 地域の森林管理の主体として森林組合の役割の明確化
- 員外利用の厳格化
- 会計制度の見直し
- 民間事業体の育成強化

##### 日本型フォレスター制度の創設・技術者等育成体制の整備

- 理論・技術・研修・普及体制の整理
- フォレスター育成システムの確立
- 現場技術者、路網設計者、オペレーターを体系的に育成する制度整備

#### 森林資源の活用

##### 国産材の加工・流通構造

- 質・量とともに、外材に負けない効率的な加工・流通体制の整備
- 大ロット需要先への供給体制の整備
- 木材利用の多角化や新たな木質部材開発に向けた研究・技術開発の推進

##### 木材利用の拡大

- 地域材住宅の推進とそれを支える技術の標準化、木造設計を担える人材の育成
- 公共施設等への木材利用の推進
- バイオマス利用の理論・技術の整理と着実な普及体制の整備
- 環境貢献度の「見える化」などによる国産材の信頼性の向上

##### 国民の財産を活かす

##### 国有林の技術力を活かしたセーフティネット

- 公益重視の管理経営のより一層の推進
- 民有林への指導やサポート、森林・林業政策への貢献

#### 制度面での改革、予算関係

- 補助金・予算の見直しは2010年6月、他は原則として2010年11月までに結論
- 森林・林業基本計画に反映
- 公開ヒアリングを開催

##### 森林情報の整備、森林計画制度の見直し、経営の集中化

- 森林の現状を把握するための森林資源モニタリング調査等森林情報の整備・公表
- 森林計画制度の見直しによる適切な森林管理の確保
- 経営意欲のある者への経営の集中化の促進策の導入
- 管理放棄地に対するセーフティネット体制(公的森林整備)の確立

##### 伐採・更新のルール整備

- 森林資源の循環利用を念頭において伐採・更新対策の整備(大規模皆伐の抑止・確実な植林の確保対策等)

##### 補助金・予算の見直し

- 補助金の見直し(メニューの簡素化、補助金の透明性・公平性の確保、長伐期化への誘導)
- 路網・機械への補助は、理論・技術の習得とあわせて実施
- 予算の見直し



# 東部支所

事務所(本所内)  
☎0979-82-7529

上毛町西友枝松尾地区で計  
画・開設していた作業道白ヶ  
谷線が8月に完成しました。

これに伴い今年度から効率  
的に作業が可能となり、組  
合員の皆様の山林の手入れ  
や搬出間伐が実施可能とな  
りました。

このように、森林施業を行なう上で欠か  
せない作業道の開設に今後も積極的に  
取り組みます。

現在予定している路線は次の通りです。

- 豊前市  
枝川内向山線
- 上毛町  
柄ヶ迫線  
(東上森地区→上唐原枇杷迫)
- 仙代線  
(西友枝仙代→東下谷山)

## 作業道計画について

▼搬出間伐作業の様子



## 補助金の申請について

山林の手入れを行った場合、国・  
県の造林補助金の対象となる場  
合があります。  
個人で作業を行った場合も対象  
となります。ぜひお知らせ下さ  
い。

そんな心配はないでしょうか?  
最近、このようなケースで庭木や裏山の木  
の伐採を依頼される事が多くなりました。  
「どこに頼めばいいのか分から  
なかった」という意見が多いよう  
です。当組合では何でも出来るとは言えません  
が、出来る限り協力いたします。  
ご要望があれば現地確認をし、お見積りを  
致しますのでお気軽にご相談ください。

## 庭木の処分に困る。

【庭木伐採作業の例】



## 新人職員の紹介

“やる気のある若者”が林業の担い手として入社いたしました。

4月より森林組合の職員として採用されました。今時では珍しいほど  
素直で気の利く一人です。(支所長)

古畠 真吾 (30歳) 子供3人

黎攀西郊支所



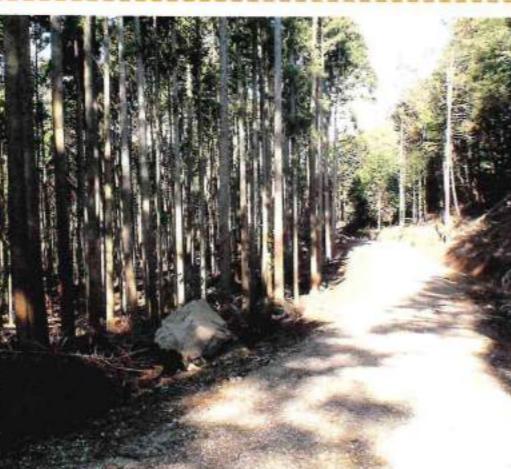
栗田 徹 (23歳) 独身

黎攀西郊支所



## 山には作業道が必要です。

前年度、作業道が完成し、その  
周辺を搬出間伐作業中です。



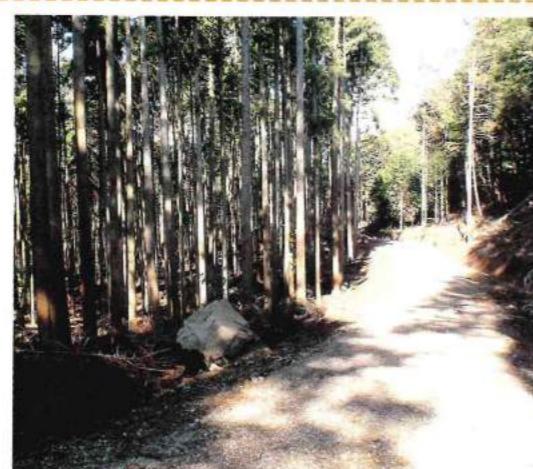
# 西部支所

☎0930-54-0001

私の家でも山があり、家族で山の手入れをしている  
のを見てきたがこんなに厳しく危険な作業とは思って  
いませんでした。

地元の山で体を使い、働く仕事をやりがいが持て  
ると思います。今後、山仕事の技術を習得し、安全な作  
業が出来るよう努力いたします。

抱負  
安全第一で、常に山主さんに喜ばれる  
山作りを行います。





# 鹿の害を防ごう

シカネット資材 50m当り(税抜)

部材名	部材数	単価	価格
オレンジネット	1枚	27,000	27,000
押えロープ	2巻	1,500	3,000
補修糸	1巻	4,300	4,300
防護柵パイプ	15本	1,000	15,000
押え木杭	28本	110	3,080
50m当り価格			52,380

※国・県・市によるシカ対策補助事業の適用がありますので、詳しくは森林組合までお尋ね下さい。



## 《平成22年度苗木、種駒価格表》

(税抜)

品目	規格	予定価格
苗	ミスギ 2-1号	77円
	2-2号	75円
木	ヒノキ 2-1号	84円
	2-2号	78円
木	クヌギ 1-1号	76円
	1-2号	64円
種駒	クロマツ 2-2号	63円
	春駒 1,000ヶ	2,800円
	春秋駒 1,000ヶ	2,800円
	平茸(駒) 1,000ヶ	2,800円
	平茸(菌) 900cc	900円
	ナメコ(駒) 1,000ヶ	2,800円
	ナメコ(菌) 900cc	900円
	シイタケ原木 1m末口6cm~	300円

※苗木の申込は25本単位でお願いします。

# お知らせ 購買事業から

今年も造林用苗木及び種駒の予約申込み受付を始めました。地区推進員さんに申込書を配布していますので、申込書に記入するか、最寄りの森林組合(本所、支所)まで申込みをお願いします。



## 国内で流通している生シイタケ品質の違い

### 中国産生シイタケ



#### ●栽培法

一般に菌床(きんじょう)栽培と呼ばれる栽培法で、ボラや綿を収穫した後の枝を粉碎してオガ(粉)にしたものに栄養分を添加して培地を作ります。

#### ●栄養分、発生までの期間

主に春先に仕込み、秋口からの発生になりますが、キノコは主にフスマやトウモロコシの芯を粉碎した物を栄養分として発生してきます。

中国の産地で収穫されてから、国内のスーパーなどの店頭に並ぶのに普通一週間程度かかっています。

#### ●国内の流通量

18%(平成19年)

### 国産菌床生シイタケ



#### ●栽培法

菌床栽培と呼ばれる広葉樹のオガに栄養源としてコメヌカやフスマなどを添加し培地として仕込みます。

#### ●栄養分、発生までの期間

製造から発生まで約半年でキノコが発生するようになりますが、キノコはコメヌカ、フスマなどを主栄養として発生してきます。

通常採取されてから、店頭に並ぶのに2日程度要します。

#### ●国内の流通量

62%(平成19年)

### 国産原木生シイタケ



#### ●栽培法

原木(げんぼく)栽培と呼ばれる栽培法で、クヌギ、コナラなどの原木にシイタケ菌を植え付ける方法で作られます。

#### ●栄養分、発生までの期間

菌を植え付けて一年から一年半かけて原木に菌がまん延し、腐朽してキノコが発生するようになります。(まだ木と呼びます。)

肥料や農薬を使用することは一切なく、純粋に原木の栄養分をシイタケ菌が分解してキノコが発生してきます。

#### ●国内の流通量

20%(平成19年)